

重要事項



施工の前に、施工説明書を
必ずお読みください。
施工不良の原因となります。

- ・天井仕上げ方法の違いで、同梱している2種類の施工説明書から選択してください。
(ケース1) 下地天井が張られていて、仕上げ天井張りは器具取付後の場合。

A

天井下張り後
器具取付用

(ケース2) 下地天井と仕上天井が、すでに張られている場合。

B

天井仕上後
器具取付用

- ・器具取付は、器具を各ブロックに分解して、手順に従い行ってください。
- ・仕上天井の開口穴は、必ず指定の寸法に仕上げてください。

ケアフル
施工商品

天井下張り後
器具取付用

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

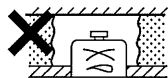
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
過熱による火災の原因となります。

ブローイング材



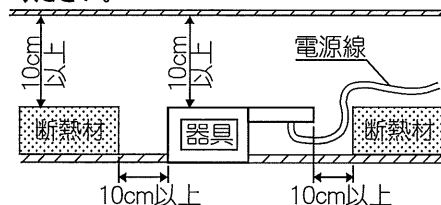
ブローイング施工不可



グラスウール

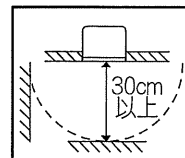
グラスウール施工不可

器具は、断熱材・防音材・造営材等と
下図のように空間を設けて施工して
ください。



⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造及び構成部品(ソケットなど)の交換をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。傾斜天井、補強のない天井、横向き、逆さ向けには取付けない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると
感電・火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、30cm以上離す。過熱による火災の原因となります。
- 器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井(壁)内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れない様に施工する。
火災の原因となります。



⚠ 注意

- ライトコントロール、明暗スイッチなどの調光器との併用はしない。チラツキの原因となります。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する
場所では使用しない。落下・感電・火災・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると火災またはランプ短寿命の原因となります。

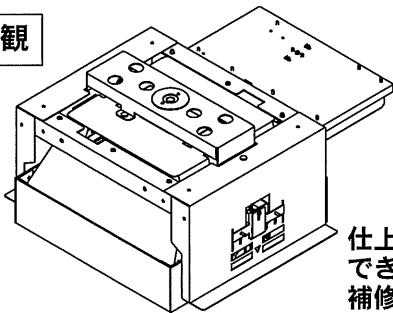
施工に関するご注意 ケアフル施工

- この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する
開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。
- この器具は、従来の器具とは異なり、建築工事(天井張り施工)と、電気設備工事(器具施工)間で、施工法、
及び天井材厚等に関して事前調整が必要ですので、ご注意ください。

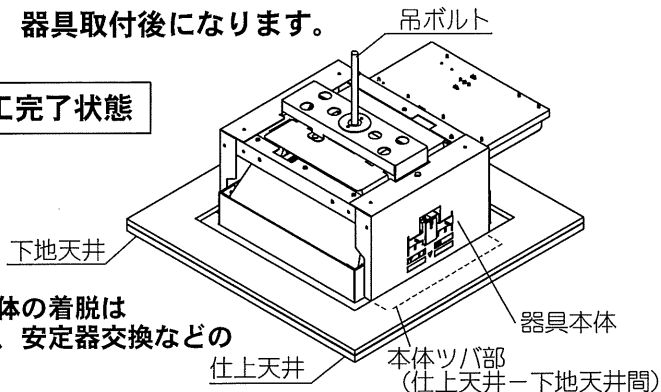
天井下張り後器具取付

下地天井張後の器具取付施工方法です。仕上天井張は、器具取付後になります。本体ツバ部は、下地天井と、仕上天井に挟まれます。

器具外觀



施工完了状態

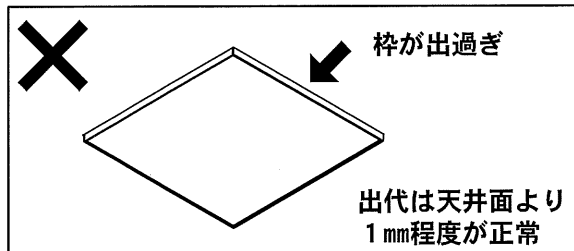


仕上天井張り後、本体の着脱はできなくなりますが、安定器交換などの補修は可能です。

ケアフル施工について

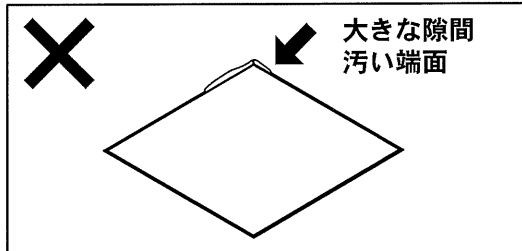
必ず、施工説明書に従い施工を行ってください。以下の様な施工不良の原因になります。

○施工不良例 枠が仕上天井より出っ張る。奥まる。



施工方法に合わせて**器具の設定**を行ってください。
天井材厚に合わせて**器具の設定**を行ってください。

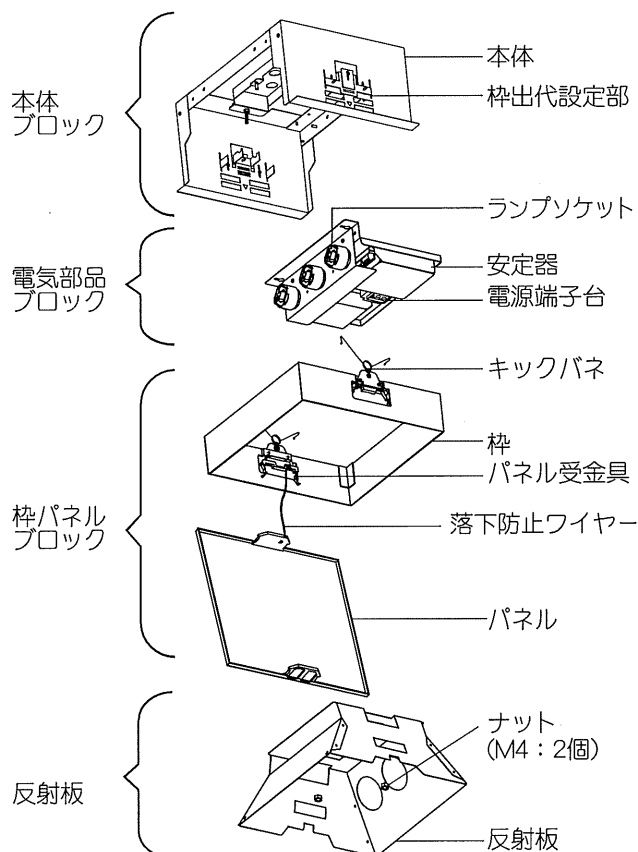
○施工不良例 枠と天井開口穴の間に隙間。



指定の開口穴寸法を守ってください。

○埋め込み穴に入らない。取付できない。

ブロックに分解して、手順に従い組み込んでください。



施工前にパネルを外してください。

パネルの外し方は

☞ 8ページ「お手入れについて」参照

施工手順(必ず守ってください)

[①前準備]

天井下張り、吊ボルト、電源線の準備

[②器具の設定変更]

天井板厚に合わせて器具の設定

[③本体ブロックの取付]

本体ブロックの取付

[④器具組立]

- ・電源線接続
- ・電気部品ブロックの取付
- ・枠パネルブロックの取付
- ・反射板、ランプの取付
- ・パネルの取付

[⑤天井仕上]

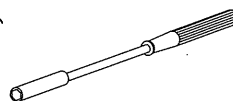
仕上天井張り施工

別梱部品

- ・ランプ … NYY23090K : 2本
NYY23092K : 3本

取り付け方

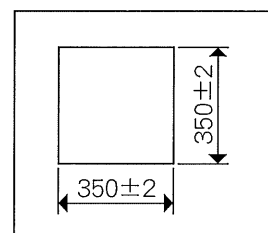
- 施工前に部品をすべて取り出し、部品が揃っていることを確認してください。
- 器具の施工には、プラスドライバーなど一般工具に加え、M4用ボックスドライバー(対辺7mm)が必要です。



①[前準備] 下地天井張り、吊ボルト、電源線の準備

天井は、器具質量(5.9kg)と、吊ボルト固定による押下げ荷重に十分耐えるよう取り付け部の強度を確保してください。

1. 下地天井を、右記の通りの寸法で開口してください。

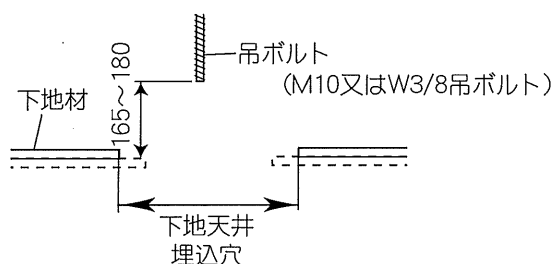


下地天井穴寸法

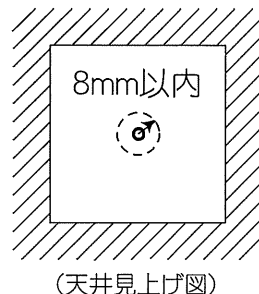
2. 埋込穴の中央に下図の通りの寸法で、吊ボルトを準備してください。

吊ボルト先端は、下地材下面より165mm～180mm
吊ボルト位置は、開口穴中央から半径8mm以内

吊ボルト先端位置



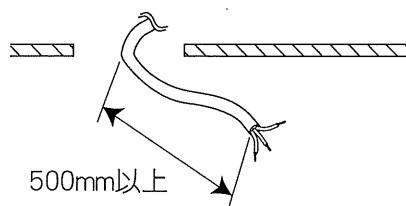
※注1) 吊ボルト先端位置が左記範囲外となった場合、ボルト先端が器具に干渉して取付ができない、又は、ボルト固定が出来なくなります



※注2) 天井埋込穴中心に対するズレは全方向 8mm以内としてください

3. 電源線は右図の長さを確保し準備してください。

電源線の引き出し



- ・電源線を埋込穴より500mm以上引き出しておく。

取り付け方

②[器具の設定変更]

天井板厚に合わせて器具の設定

②-1 予定の仕上上天井厚の確認

⚠ 注意

- 仕上天井の厚みを確認してください。
- 仕上天井の厚さにあわせて枠出代設定を行ってください。

1. 器具取付後に張る天井仕上材（下地天井ではない）の板厚を確認してください。この器具が対応できる仕上げ天井材の板厚は、右表の通りです。

表1 適合する仕上天井厚

仕上材厚 (mm)
9
12
15

②-2 仕上天井板厚に合わせて器具の設定

1. 仕上に使用する仕上天井厚を確認してください。これに合わせて枠の出代設定を変更する必要があります。（設定は本体の枠出代設定金具を上下させ、下表の使用スリットに枠出代設定金具の合わせ部を差し込むことで行います。）

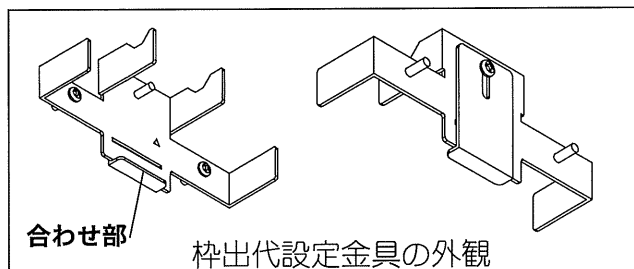
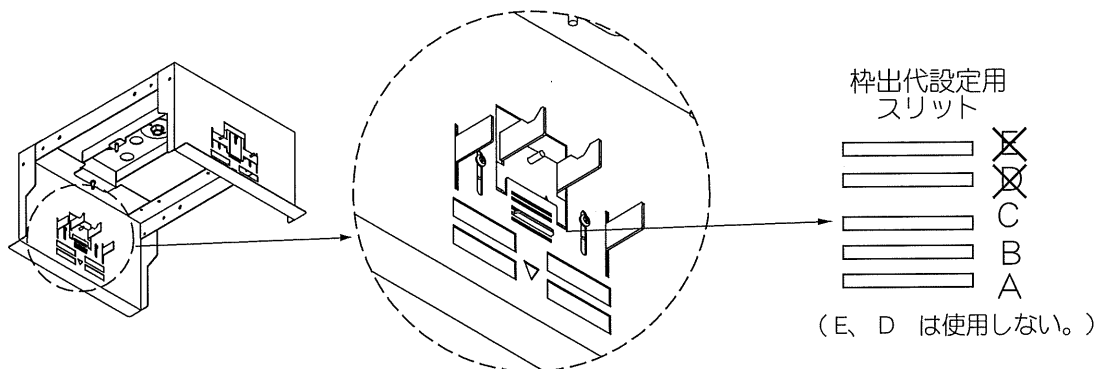


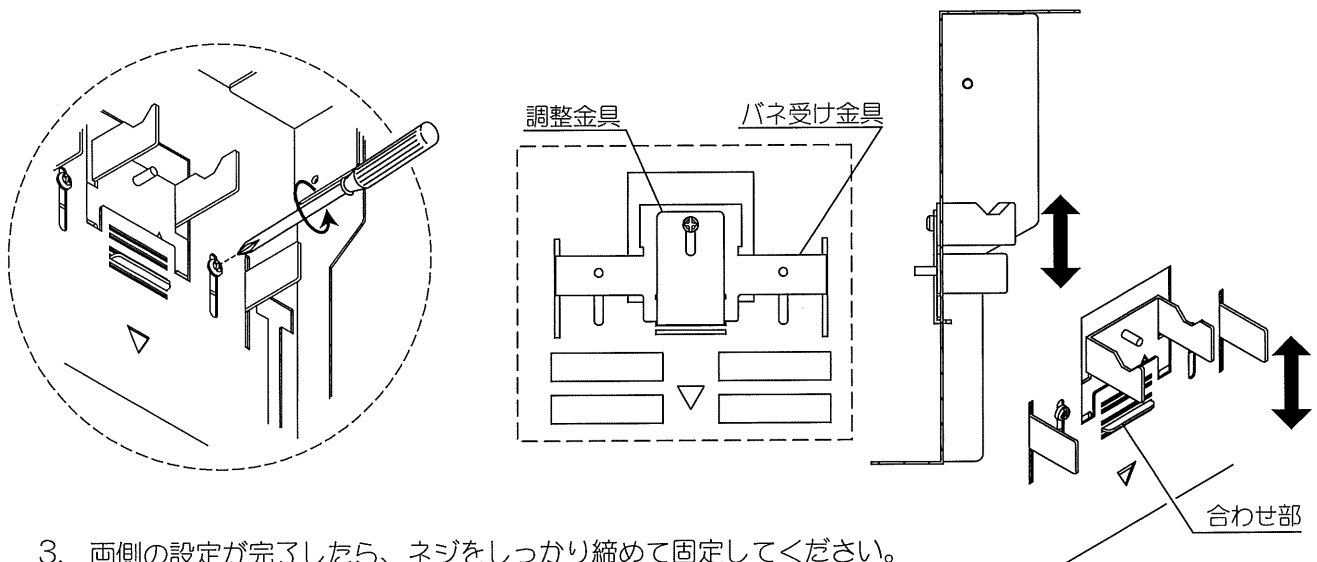
表 枠出代設定金具の使用スリット

仕上材厚 (mm)	使用スリット
9	C
12	B
15	A

初期設定 B

（仕上天井が12mmの場合は変更は必要ありません）

2. 本体の内側から、枠出代設定金具を固定している2本のネジを緩めて、枠出代設定金具を上下させて、合わせ部を設定するスリットに差し込んでください。

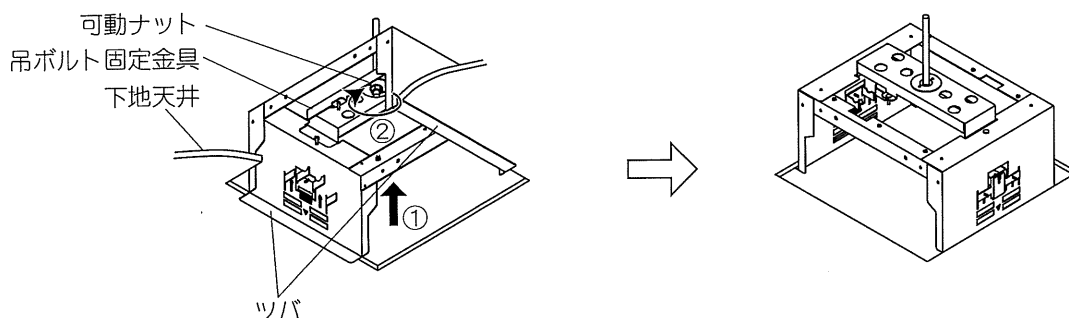


3. 両側の設定が完了したら、ネジをしっかり締めて固定してください。

取り付け方

③[本体ブロックの取付]

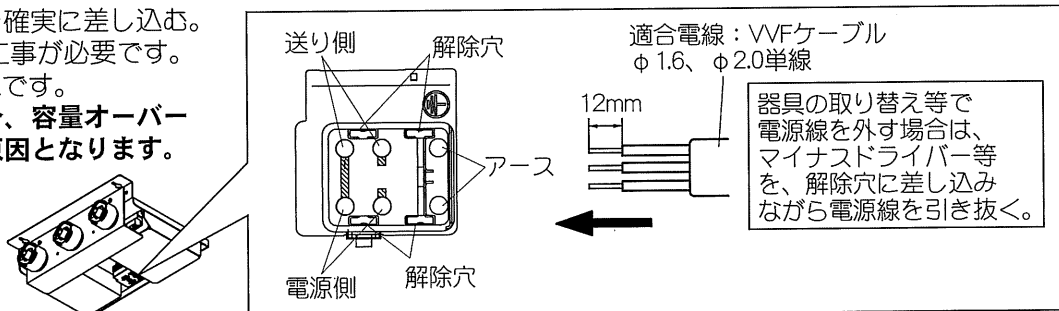
1. 取付前に、吊ボルト用固定金具が、本体ブロックに取り付いているか確認する。
(取りついていない場合は取りつける。)
2. 本体の固定は吊ボルトを使った固定で行えます。
 - ①本体を埋め込み穴に真っ直ぐ押し上げる。
 - ②可動ナットを吊ボルトに締付ける。(推奨トルク値 $0.5\text{ N} \cdot \text{m}$ ($5\text{ kg f} \cdot \text{cm}$))



④[器具組立]

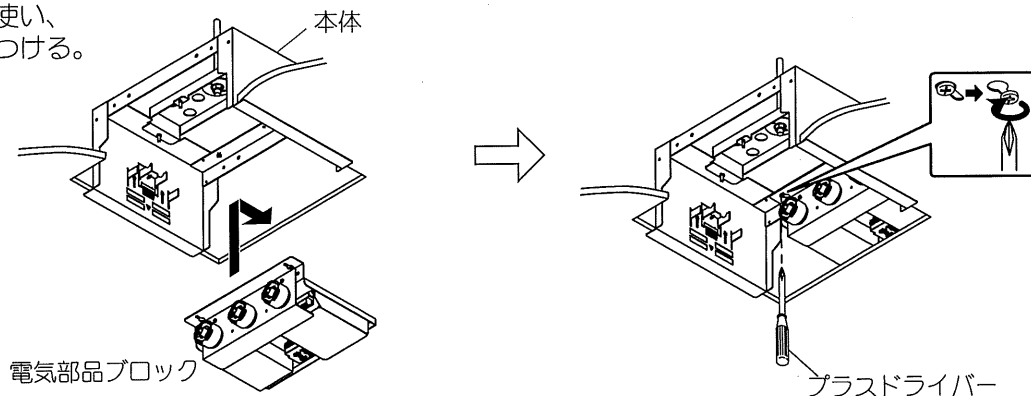
④-1 電気部品ブロックの端子台に電源線を接続する

- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
 - ・D種（第3種）接地工事が必要です。
 - ・端子台の容量は20Aです。
- 接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。**



④-2 電気部品ブロックを本体ブロックに取りつける

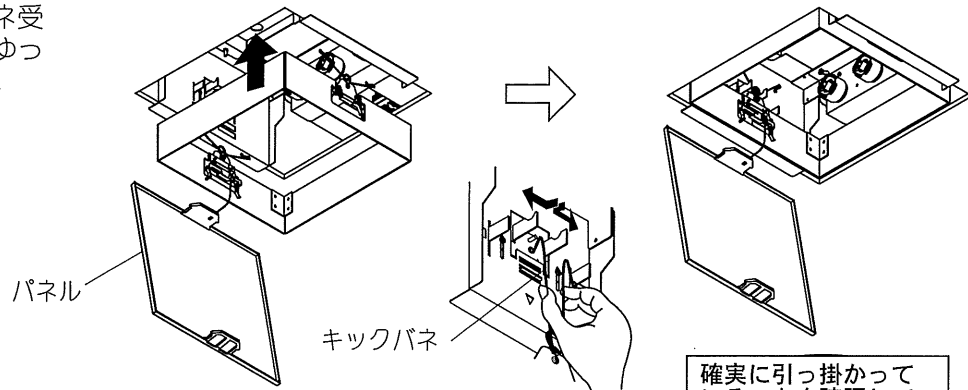
本体から出ているネジを使い、
電気部品ブロックを取りつける。
(ダルマ穴2カ所)



取り付け方

④-3 枠-パネルブロックを取りつける

枠を本体の中に入れ、片側ずつキックバネを押し縮めながらバネ受け金具に引っ掛けゆっくりと押し上げる。

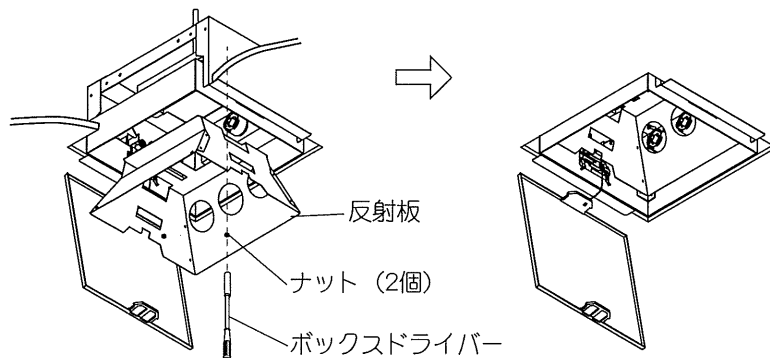


枠上面がバネ受け金具の下面と密着していることを確認してください。

確実に引っ掛かっていることを確認してください。

④-4 反射板を取りつける

吊ボルト用固定金具に反射板を取りつける。
(ナット2個、ボックスドライバー使用)



④-5 ランプを取りつける (8ページの取扱説明書をご覧ください。)

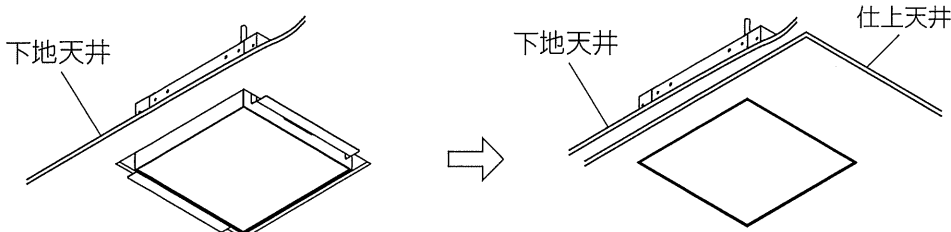
④-6 パネルを取りつける (8ページの取扱説明書をご覧ください。)

⑤[天井仕上] 仕上天井張り施工

枠に合わせて仕上天井を張ってください。

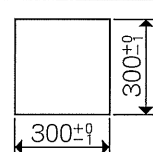
仕上天井の切断面下側には欠け、曲がり等が無い様、十分配慮ください。仕上天井の下側切断線が、露出しますので、十分注意して穴加工を行ってください。

仕上天井が石膏ボードや岩綿吸音板のように軟らかい場合はカッターナイフでの開口をおすすめします。



重要ポイント

仕上天井開口穴寸法



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

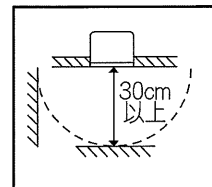
・ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、
工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、30cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

- 器具の下に温度の高くなる物(ストーブ・ガスレンジ等)や湿気を発生させる物を置かない。
火災の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年^{*}経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021BA)
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない。
やけどの原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。
強度低下による破損の原因となります。

使用上のご注意

- ランプは別梱です。
- 適合ランプ以外は使用しない。
- 振動、衝撃を与えない。ランプの短寿命、破損の原因になります。

保証について

- 保証について…………… この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。 詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について…………… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の… 保有期間…………… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、
6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- ・器具の清掃について ----- 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について ----- 本体表示にしたがって、下記の指定された適合ランプを使用してください。

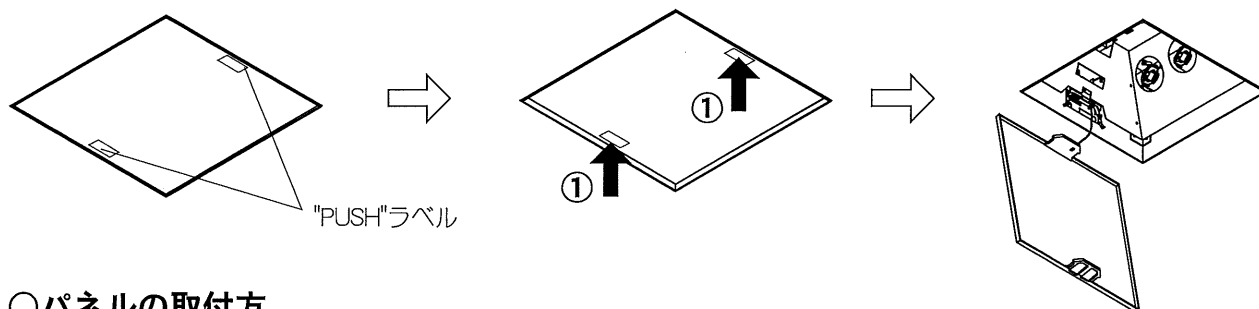
○パネルの外し方

①パネルの“PUSH”の部分（両側）を、5mm程度、上側に軽く押してください。

器具内部でパネル固定部が解除されます。

注意：片側だけの無理押しや、無理な引き張り等は避けてください。器具の破損の原因になります。

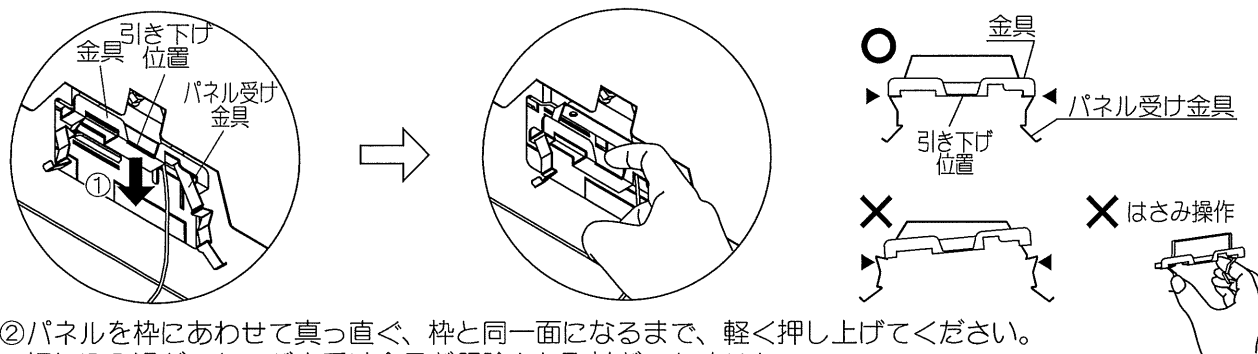
②固定部が解除されますので、パネルを受けてください。



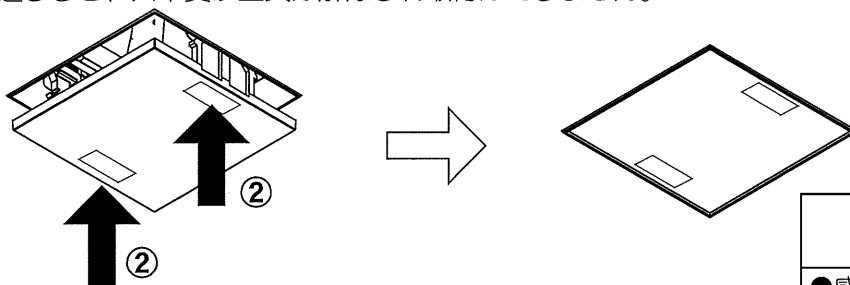
○パネルの取付方

①パネルを取り付ける前に、金具をパネル受け金具の指定の位置に戻してください。

※無理な引き下げやパネル受け金具のはさみ操作は行わないでください。



②パネルを枠にあわせて真っ直ぐ、枠と同一面になるまで、軽く押し上げてください。押し込み過ぎると、バネ受け金具が解除され取付ができません。



⚠ 注意

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないこと

○ランプの交換

適合ランプ

24形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT24
32形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT32
42形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT42

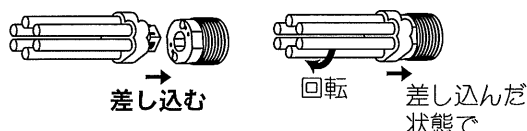
ランプの取り付け

①ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。

②差し込んだ状態でランプを回転させ取りつける。(回転角度約15°)

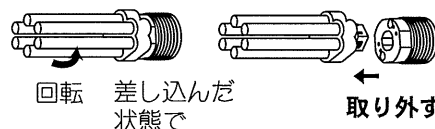
回転が不十分な場合、落下の原因となります。

ガラス管を強く握らないでください。割れる恐れがあります。



ランプの取りはずし

①ソケットに取りついた状態のままランプを取りつけと逆方向に回転させてください。



ケアフル
施工商品

品番 NYY23090K(2灯用)
NYY23092K(3灯用)

天井仕上後
器具取付用

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼して下さい。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意



危険

- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
過熱による火災の原因となります。

ブローイング材



ブローイング施工不可

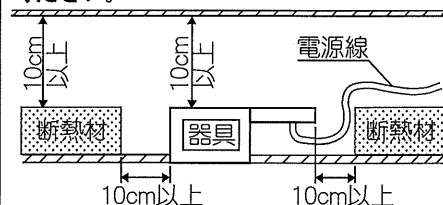


グラスウール



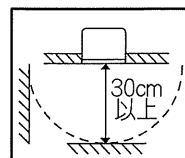
グラスウール施工不可

器具は、断熱材・防音材・造営材等と
下図のように空間を設けて施工して
ください。



警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造及び構成部品(ソケットなど)の交換をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。傾斜天井、補強のない天井、横向き、逆さ向けには取付けない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると
感電・火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、30cm以上離す。過熱による火災の原因となります。
- 器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると火災の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井(壁)内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れない様に施工する。
火災の原因となります。



注意

- ライトコントロール、明暗スイッチなどの調光器との併用はしない。チラツキの原因となります。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する
場所では使用しない。落下・感電・火災・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると火災またはランプ短寿命の原因となります。

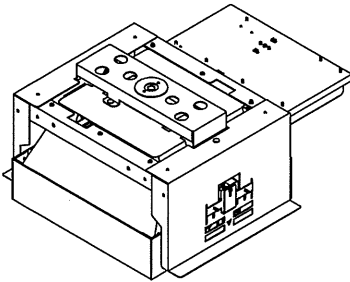
施工に関するご注意 ケアフル施工

- この器具はケアフル施工品です。開口寸法のバラツキによる隙間を吸収できる枠がありませんので、推奨する
開口寸法を逸脱する場合は、大きな隙間を生じることがありますのでご注意ください。
- この器具は、従来の器具とは異なり、建築工事(天井張り施工)と、電気設備工事(器具施工)間で、施工法、
及び天井材厚等に関して事前調整が必要です。ご注意ください。

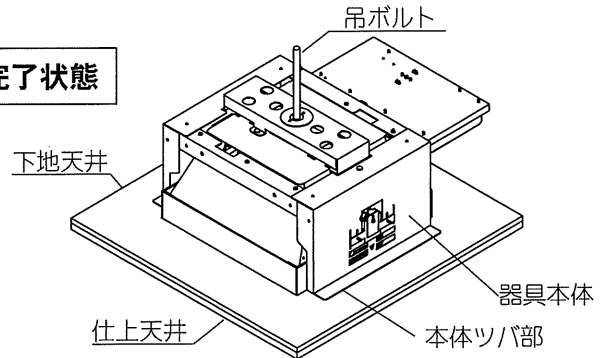
天井仕上後器具取付

仕上天井張った後で下地天井張の上に本体を乗せ、吊ボルトを使って固定する器具取付施工方法です

器具外観



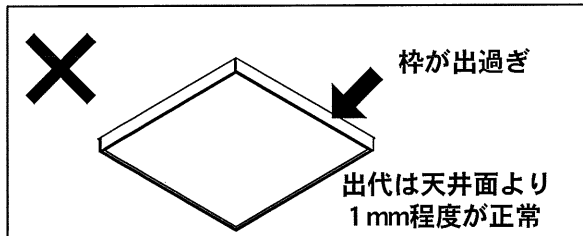
施工完了状態



ケアフル施工について

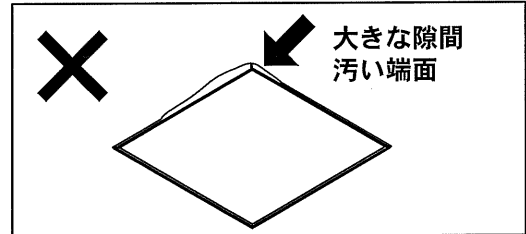
必ず、施工説明書に従い施工を行ってください。以下の様な施工不良の原因になります。

○施工不良例 枠が仕上天井より出っ張る。奥まる。



施工方法に合わせて器具の設定を行ってください。
天井材厚に合わせて器具の設定を行ってください。

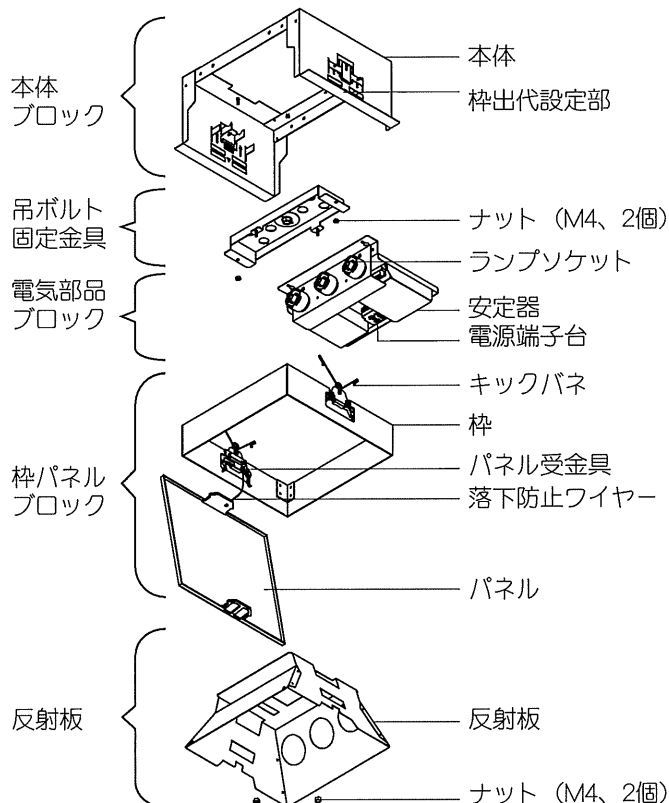
○施工不良例 枠と天井開口穴の間に隙間。



指定の開口穴寸法を守ってください。

○埋め込み穴に入らない。取付できない

ブロックに分解して、手順に従い組み込んでください。



施工前にパネルを外してください。
パネルの外し方は
☞ 8ページ「お手入れについて」参照

施工手順(必ず守ってください)

【①前準備】

天井仕上(下地、仕上)、吊ボルト
電源線の準備

【②器具の設定変更】

天井板厚に合わせて器具の設定

【③本体ブロックの取付】

本体ブロックの取付

【④器具組立】

- ・電源線接続
- ・電気部品ブロックの取付
- ・枠パネルブロックの取付
- ・反射板、ランプの取付
- ・パネルの取付

別梱部品

・ランプ … NYY23090K : 2本
NYY23092K : 3本

取り付け方

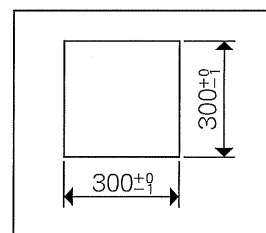
①[前準備] 天井仕上（下地、仕上）吊ボルト、電源線の準備

天井は、器具質量(5.9kg)と、吊ボルト固定による押下げ荷重に十分耐えるよう取り付け部の強度を確保してください。

1. 天井を、右記の通りの寸法で開口してください。

重要ポイント

- 仕上天井の切断面下側には欠け、曲がり等が無い様、十分配慮ください。
- 仕上天井の下側切断線が露出しますので、十分注意して穴加工を行ってください。
- 仕上天井が石膏ボードや岩綿吸音板のように軟らかい場合はカッターナイフでの開口をおすすめします。

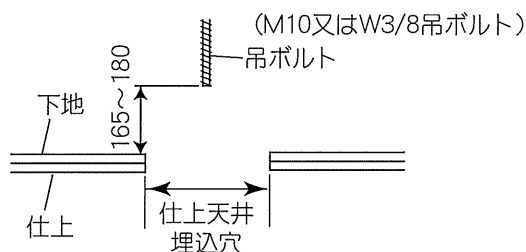


下地/仕上天井穴寸法

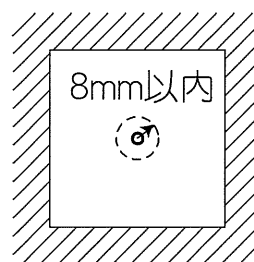
2. 埋込穴の中央に下図の通りの寸法で、吊ボルトを準備してください。

吊ボルト先端は、下地材上面より165mm～180mm
吊ボルト位置は、開口穴中央から半径8mm以内

吊ボルト先端位置



※注1) 吊ボルト先端位置が左記範囲外となった場合、ボルト先端が器具に干渉して取付ができない、又は、ボルト固定が出来なくなります

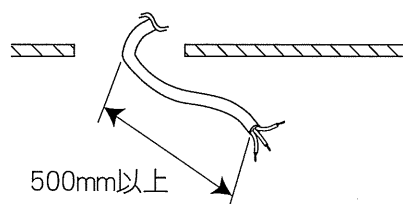


(天井見上げ図)

※注2) 天井埋込穴中心に対するズレは全方向 8mm以内としてください

3. 電源線は右図の長さを確保し準備してください。

電源線の引き出し



- ・電源を埋込穴より500mm以上引き出しておく。

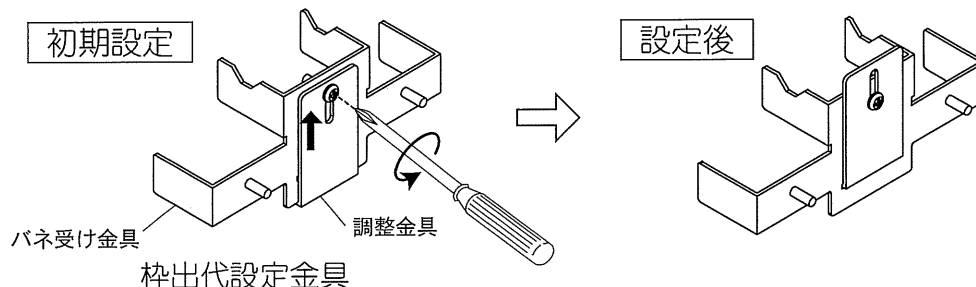
取り付け方

②[器具の設定変更]

天井板厚に合わせて器具の設定

②-1 調整金具の切替

本体左右の枠出代設定部で、バネ受け金具と調整金具の位置関係を変更してください。



②-2 合計天井厚（下地天井と仕上天井の合計厚）の確認

⚠ 注意

●合計天井厚を確認して、枠出代設定を行ってください。

合計天井厚（下地と仕上天井の合計）を確認してください。
この器具が対応できる合計天井厚は、右表の通りです。

表1 適合する合計天井厚（mm）

10.5
13.5
18.5
21.5
24.5 (24)

②-3 合計天井厚に合わせて器具の設定

合計天井厚に合わせて、枠出代設定を変更する必要があります。

（設定は本体の枠出代設定金具を上下させ、下表の使用スリットに枠出代設定金具の合わせ部を差し込むことで行います。）

1. 使用するスリットを右表から選択してください。

24mmの場合は、施工後の天井からの
枠出代は1.5mmとなります。

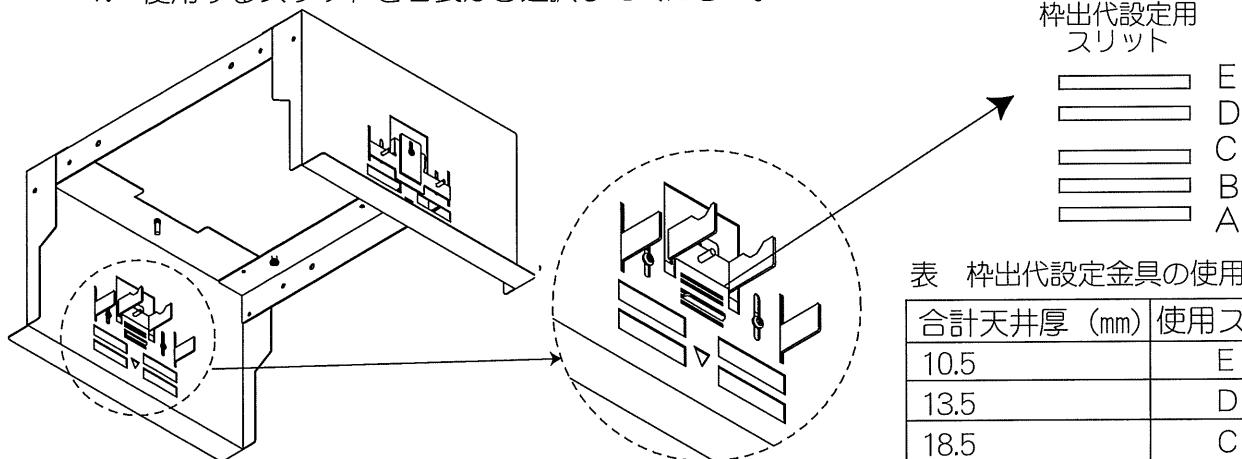
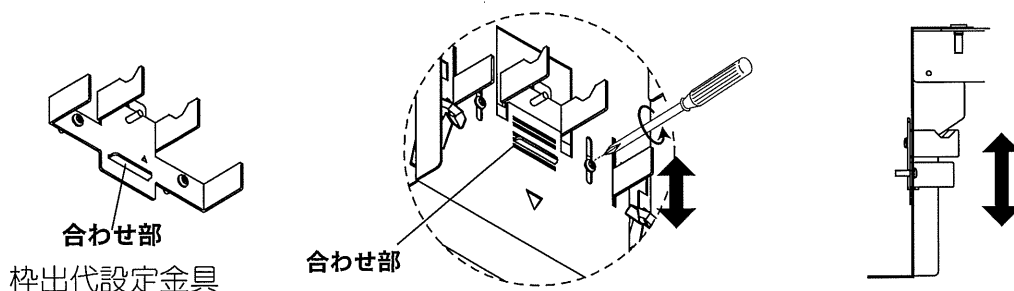


表 枠出代設定金具の使用スリット

合計天井厚（mm）	使用スリット
10.5	E
13.5	D
18.5	C
21.5	B
24.5 (24)	A

2. 本体の内側から、枠出代設定金具を固定している2本のネジを緩めて、枠出代設定金具を上下させて、合わせ部を設定するスリットに差し込んでください。

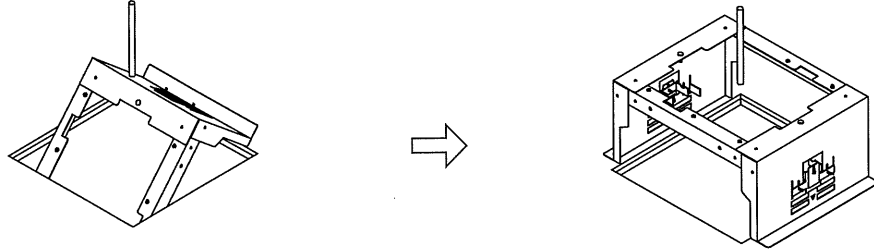


3. 両側の設定が完了したら、ネジをしっかり締めて固定してください。

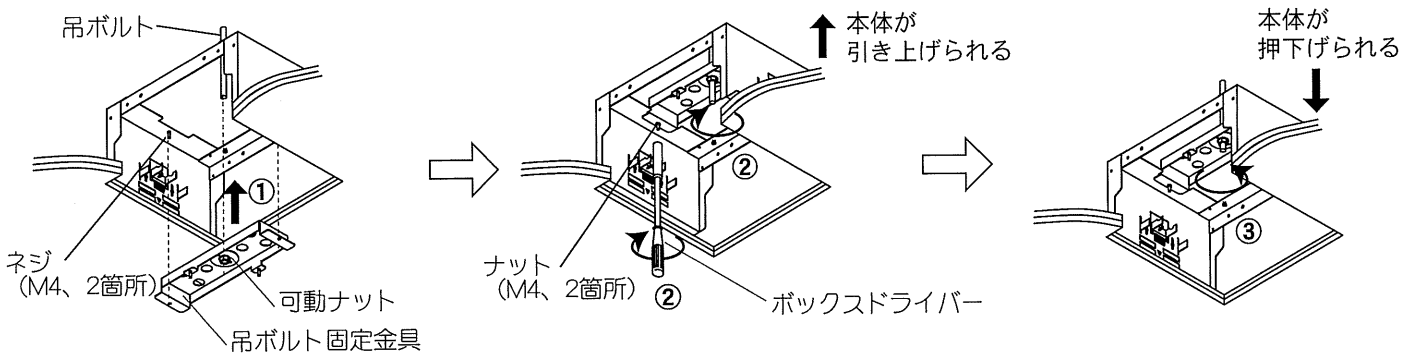
取り付け方

③[本体ブロックの取付]

1. 図の様に本体を傾けながら埋込穴に入れて、下地天井の上に置いてください。
このとき、吊ボルト固定金具が本体に取り付いたままの状態では、吊ボルトに干渉して、本体を天井穴に入れることができませんので、吊ボルト固定金具は必ず取り外してください。



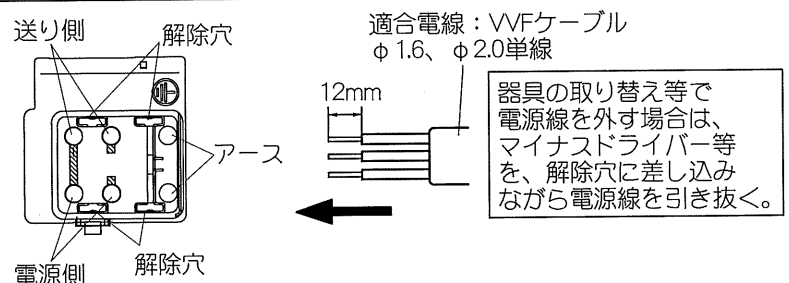
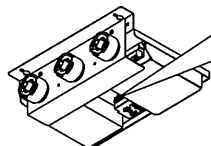
2. ①吊ボルト固定金具の可動ナットを吊ボルトに、同時に取付穴を本体のネジに合わせてください。
②本体が少し浮くまで可動ナットを回転させ、付属のナットを使い、吊ボルト固定金具を本体に、しっかり固定してください。
③最後に、可動ナットを逆方向に回転させることで、本体を下地天井に押し付けて固定してください。
(推奨トルク値 $0.5\text{ N}\cdot\text{m}$ ($5\text{ kg f}\cdot\text{cm}$))
本体のツバ部分がしっかり下地天井に密着していることを確認してください。



④[器具組立]

④-1 電気部品ブロックの端子台に電源線を接続する

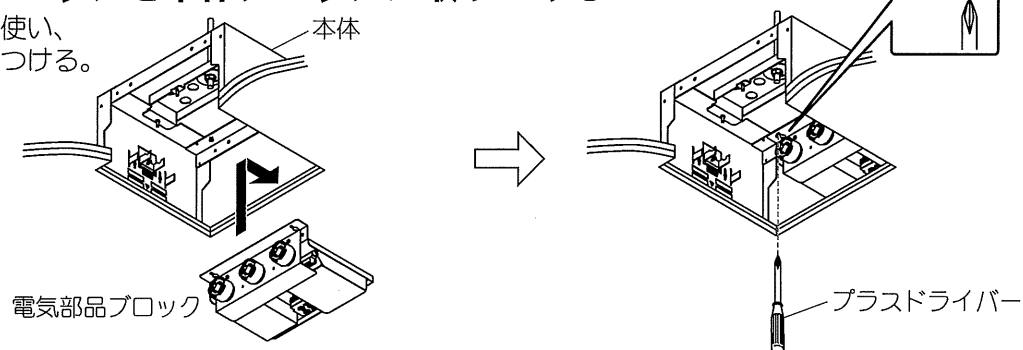
- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
 - ・D種（第3種）接地工事が必要です。
 - ・端子台の容量は20Aです。
- 接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。**



取り付け方

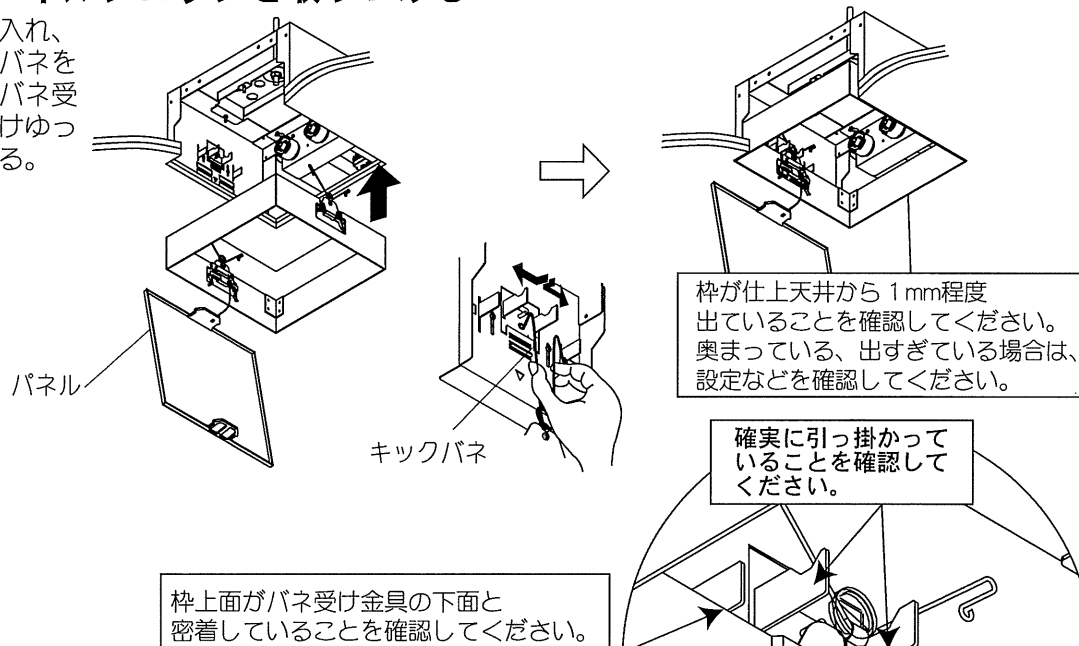
④-2 電気部品ブロックを本体ブロックに取りつける

本体から出ているネジを使い、
電気部品ブロックを取りつける。
(ダルマ穴2カ所)



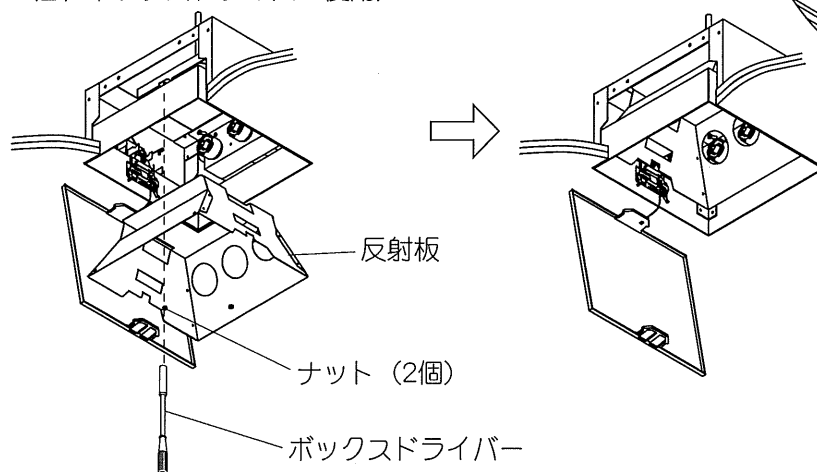
④-3 枠ーパネルブロックを取りつける

枠を本体の中に入れ、
片側ずつキックバネを
押し縮めながらバネ受
け金具に引っ掛けゆっ
くりと押し上げる。



④-4 反射板を取りつける

吊ボルト用固定金具に反射板を取りつける。
(ナット2個、ボックスドライバー使用)



④-5 ランプを取りつける (8ページの“ランプの交換”をご覧ください。)

④-6 パネルを取りつける (8ページの“パネルの取付方”をご覧ください。)

施工完了

枠の出代状態が正常か、また周囲の天井に割れ、
欠け等が無いことを確認してください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

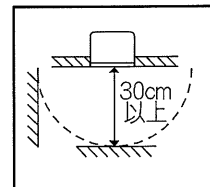
・ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、
工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、30cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

- 器具の下に温度の高くなる物(ストーブ・ガスレンジ等)や湿気を発生させる物を置かない。
火災の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021BA)
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない。
やけどの原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。
強度低下による破損の原因となります。

使用上のご注意

- ランプは別梱です。
- 適合ランプ以外は使用しない。
- 振動、衝撃を与えない。ランプの短寿命、破損の原因になります。

保証について

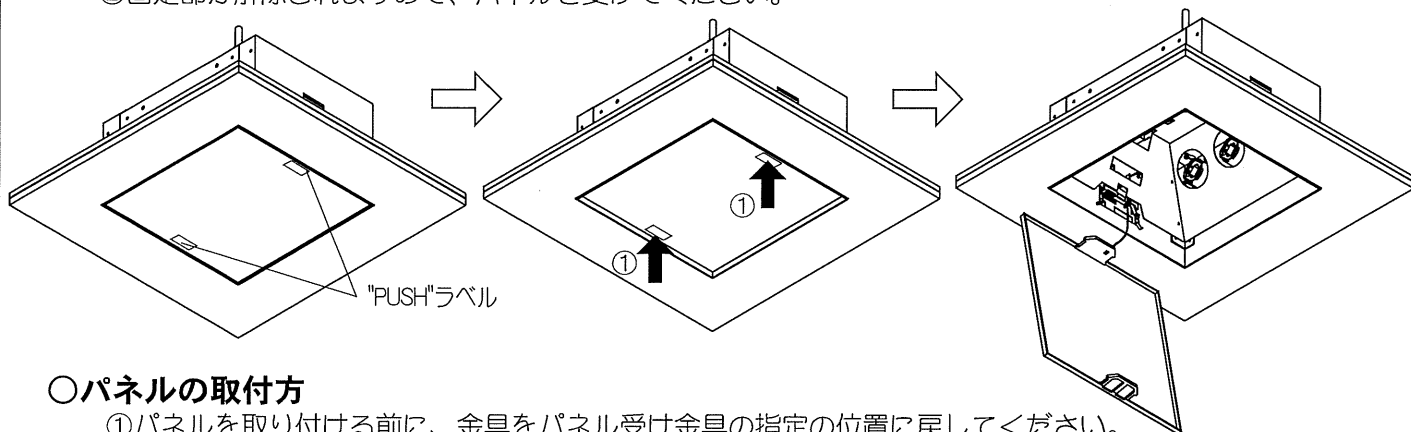
- 保証について……………この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について………保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の………弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、
保有期間 6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- ・器具の清掃について ----- 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について ----- 本体表示にしたがって、下記の指定された適合ランプを使用してください。

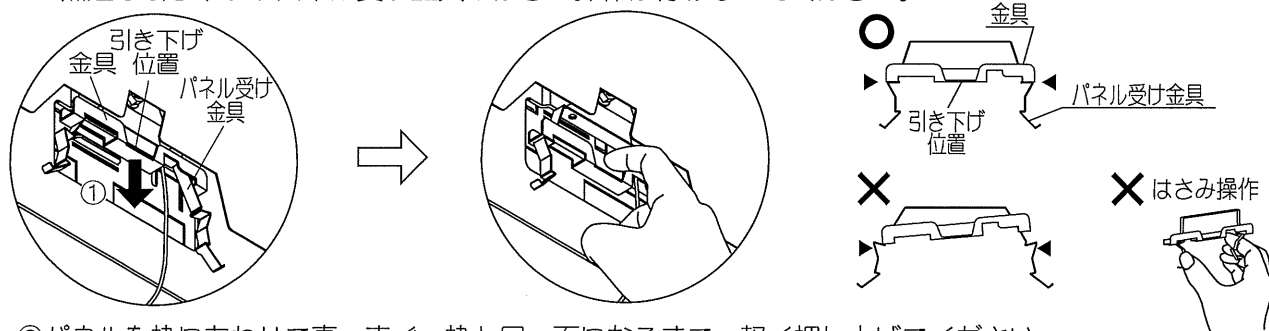
○パネルの外し方

- ①パネルの“PUSH”の部分（両側）を、5mm程度、上側に軽く押してください。器具内部でパネル固定部が解除されます。
注意：片側だけの無理押しや、無理な引き張り等は避けてください。器具の破損の原因になります。
- ②固定部が解除されますので、パネルを受けてください。

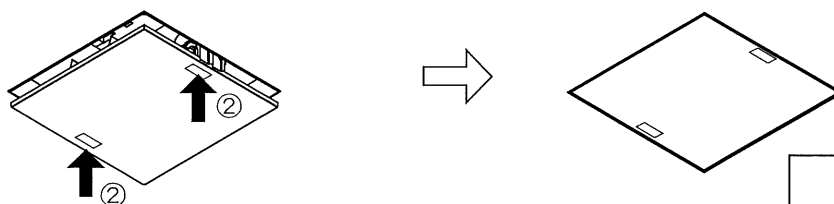


○パネルの取付方

- ①パネルを取り付ける前に、金具をパネル受け金具の指定の位置に戻してください。
※無理な引き下げやパネル受け金具のはさみ操作は行わないでください。



- ②パネルを枠にあわせて真っ直ぐ、枠と同一面になるまで、軽く押し上げてください。押し込み過ぎると、パネル受け金具が解除され取付ができません。



○ランプの交換

適合ランプ

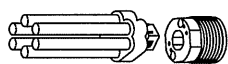
24形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT24
32形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT32
42形コンパクト形蛍光灯(パナソニック製)	FHT42

ランプの取りつけ

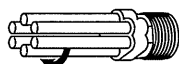
- ①ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- ②差し込んだ状態でランプを回転させ取りつける。(回転角度約15°)
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。割れる恐れがあります。

ランプの取りはずし

- ①ソケットに取り付いた状態のままランプを取りつけと逆方向に回転させてください。



差し込む



回転

差し込んだ状態で



回転



差し込んだ状態で



取り外す

⚠ 注意

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないこと